



# ふきのとう

## 第32号

【発行】  
 社会福祉法人  
 秋田県社会福祉事業団

〒010 - 1412  
 秋田市御所野下堤五丁目1番地の1  
 TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361  
 HP <http://www.fukinoto.or.jp>  
 e-mail [mail@fukinoto.or.jp](mailto:mail@fukinoto.or.jp)



由利本荘地域生活支援センター 収穫の様子と調理体験

【目次】

p 6	P 5	P 4	P 3	P 2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設紹介く清水水園く表彰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設紹介く阿桜園く平成30年度実践発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度決算・事業報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者支援センター御所野について</li> </ul>

★FACEBOOK随時更新中★

ホームページからも閲覧できます。

詳細は、コチラから↓







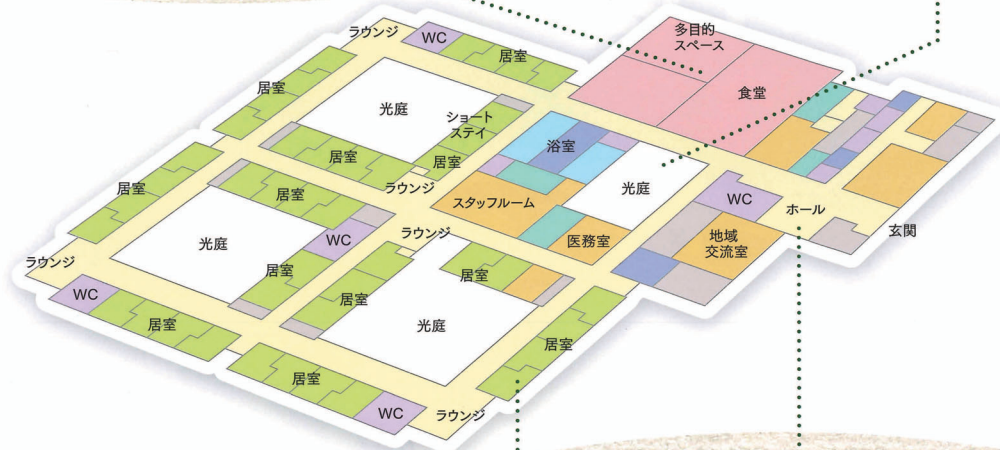
新施設情報  
障害者支援センター御所野来春オープン



趣味や運動などの活動の場として多目的スペースを設置

食堂  
多目的スペース  
(イメージ図)

光庭  
(イメージ図)



採光に配慮した明るく過ごしやすい生活空間を整備

居室  
(イメージ図)

ホール  
(イメージ図)

- 【実施サービス】
- 施設入所 (定員40名)
- 生活介護 (定員60名予定)
- 短期入所 (定員2名)
- 日中一時支援 (定員2名)

- 【施設概要】
- 所在地：秋田市御所野下堤五丁目一番地の一内地内
- 構造：鉄骨造 平屋建て
- 延べ床面積：二千三百八十二・二六㎡

障害者支援センター御所野は、平成31年4月開所に向けて順調に工事が進んでいます。現在の身体障害者更生訓練センターを引き継ぐ新センターは、事業団が自主設置する入所施設の第1号となります。建設地は、幹線道路ネットワークに恵まれ、近くには中央シルバークエアやショッピングモール等があり、買い物や娯楽などにも便利な環境にあります。

プライバシーに配慮し全個室で、各居室には洗面台等が備わっています。身体状況に応じて利用できる3種類の介護浴槽では、座った姿勢や寝た姿勢で入浴できるほか、専用車いすで利用できるリフト式浴槽も備えています。

また、趣味活動を行う多目的スペースやリラクセスできるラウンジなど日常生活が快適に過ごせる設備が整っています。

利用者一人ひとりにふさわしい生活を支えるため、専門スタッフが研修を重ねており、来春のオープンに向けて受入れ準備も着実に進んでいます。

# 平成29年度 決算・事業報告

## 平成二十九年 事業報告概況

### (一) 監査体制の強化

従来の監事による監査、本部職員による内部監査に加え、新たに選任した会計監査人による期中監査を全施設対象に行いました。

### (二) 県有施設等の経営

秋田県心身障害者センター、秋田県身体障害者更生訓練センターの2施設は秋田県から無償借受を継続、北部・中央・南部老人福祉総合エリア、やまばと園など5施設は指定管理者として適正な経営に努めました。

### (三) 自主設置施設の経営

平成二十八年度秋田県から譲り受けた高清水園、阿桜園を経営するほか、開所2年目の由利本荘地域生活支援センターでは、送迎による生活介護、放課後等デイサービスなどの取組を強化し、利用者が増加しました。

### (四) 強度行動障がいに対応したサービスの充実

秋田県心身障害者センターでは、強度行動障がいに対応した個室スペースの確保など居住空間を改善し、平成三十年度から通所サービスを開始することとしました。

### (五) グループホームの防火対策

消防法施行令等の改正に伴う防火対策の強化を図るため、グループホームの内装不燃化等の改修や消防設備が整う物件の確保を行いました。

### (六) 障害児施設の円滑な移行

十八歳以上が入所する障害児施設については、関係機関と協議を進め、次とおり移行することとなりました。  
・高清水園より平成二十九年度から障害者支援施設へ移行しました。  
・阿桜園より平成三十年度から児者併設施設へ移行することとし、児童専用棟(定員5名)を設けるために居室の個室化やトイレ改修等を行いました。  
・やまばと園より平成三十年度から障害者支援施設へ移行することになりました。

### (七) 正規職員採用

平成三十年四月一日付で福祉職13名、専門職(看護師)2名を採用。十月一日付で技能技師1名中途採用しました。

### (八) 非正規職員の待遇改善、無期雇用契約への対応

平成二十九年度から給与額の引き上げや定期昇給制度の導入を実施しました。労働契約法の改正に伴う無期雇用契約への転換に対応するため、無期雇用職員を対象とした就業規則を新たに制定しました。また、現行の非正規職員を対象とした就業規則については、仕事と育児・介護等が両立しやすい有給休暇を設けるなど全面的な見直しを図りました。

### (九) 継続雇用職員の活用

定年退職後も引き続き活躍できるよう、経験・ノウハウを生かせる職務の開拓や多様な働き方を選択できる環境づくりを進めるため、新たに継続雇用職員を対象とした就業規則を制定しました。

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	1,742,909,186	1,650,710,217	92,198,969	流動負債	462,014,123	351,678,515	110,335,608
固定資産	5,383,976,850	5,196,090,364	187,886,486	固定負債	613,388,185	622,885,921	△ 9,497,736
				負債の部合計	1,075,402,308	974,564,436	100,837,872
				純資産の部			
基本財産	2,113,736,925	2,176,716,301	△ 62,979,376	基本金	10,000,000	10,000,000	0
その他の固定資産	3,270,239,925	3,019,374,063	250,865,862	元入金			
資産の部合計	7,126,886,036	6,846,800,581	280,085,455	国庫補助金等特別積立金	1,672,572,739	1,724,897,338	△ 52,324,599
				その他の積立金	2,391,201,814	2,177,447,938	213,753,876
				次期繰越活動収支差額	1,977,709,175	1,959,890,869	17,818,306
				(内当期活動収支差額)	(231,572,182)	(253,054,720)	△ 21,482,538
				純資産の部合計	6,051,483,728	5,872,236,145	179,247,583
				負債及び純資産の部合計	7,126,886,036	6,846,800,581	280,085,455

## 資金収支計算書

(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日 (単位：円)

勘定科目	決算
事業活動による収支	
事業活動収入計	4,606,728,581
事業活動支出計	4,319,911,464
事業活動資金収支差額	286,817,117
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	23,806,800
施設整備等支出計	114,331,337
施設整備等資金収支差額	△90,524,537
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	201,836,641
その他の活動支出計	406,413,259
その他の活動資金収支差額	△204,576,618
予備費支出	
当期資金収支差額合計	△8,284,038
前期末支払資金残高	1,408,602,905
当期末支払資金残高	1,400,318,867

## 事業活動収支計算書

(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日 (単位：円)

勘定科目	決算
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	4,593,974,008
サービス活動費用計	4,366,213,586
サービス活動増減差額	227,760,422
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	13,041,986
サービス活動外費用計	312,607
サービス活動外増減差額	12,729,379
経常収支差額	240,489,801
特別増減の部	
特別収益計	19,542,800
特別費用計	18,983,519
特別増減差額	559,281
税引前当期活動増減差額	241,049,082
法人税、住民税及び事業税	9,476,900
法人税等調整額	
当期活動増減差額	231,572,182
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	1,959,890,869
当期末繰越活動増減差額	2,191,463,051
基本金取崩額	
その他の積立金取崩額	140,257,120
その他の積立金積立額	354,010,996
次期繰越活動増減差額	1,977,709,175

事業報告・決算の詳細については、当事業団ホームページの「事業報告・決算」ボタンからアクセスしていただくとご覧になることができます。



平成30年度 新規採用職員紹介

新規採用職員のみなさんに聞きました！  
事業団職員としての今後の抱負

			
<p>高清水園 管理課</p> <p>技師看護師 山口 政彦</p> <p>初めての施設勤務となります。これまでの経験を活かしつつ、新たに学習しながら皆様の健康面に寄与できるように頑張ります。</p>	<p>高清水園 支援課</p> <p>主事 千葉 早知子</p> <p>利用者の皆さんが笑顔で穏やかに過ごせるよう、私も笑顔を忘れずに頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>	<p>高清水園 支援課</p> <p>主事 仲川 成美</p> <p>四月から高清水に配属となりました。まだまだ慣れない点もありますが、利用者の皆様が充実した毎日を送れるよう、努めてまいりたいと思います。</p>	<p>高清水園よつば寮 支援課</p> <p>主事 工藤 亜貴子</p> <p>利用者の皆様と日々関わりながら、勉強させて頂いております。利用者の皆様の生活が充実するよう常に心掛けたいと思っております。</p>
			
<p>心身障害者コロニー 診療所</p> <p>技師看護師 佐藤 和佳子</p> <p>事業団に入職し間もなく半年となります。利用者さんが明るく楽しく、その人らしく長生きできるようにサポートしていきたいと思っております。</p>	<p>心身障害者コロニー 創生支援課</p> <p>主事 小柳 佳那</p> <p>利用者さんとの関わりの中でたくさんのお話を学んでおります。より良い支援を提供できるよう努めていきたいと思っております。</p>	<p>心身障害者コロニー 管理課</p> <p>菴藤(電) 齋 藤 剛</p> <p>コロニーは施設も広く管理も大変ですが、利用者の皆さんが快適に安心して過ごせるよう施設の管理をしていきたいと思っております。</p>	<p>心身障害者コロニー 白光支援課</p> <p>主事 高橋 尚吾</p> <p>利用者の皆さんが快適な生活を送れるように精一杯支援させて頂きます。よろしくお願いいたします。</p>
			
<p>心身障害者コロニー 開成支援課</p> <p>主事 芦澤 悠貴</p> <p>利用者の皆さんと一緒に働くことの喜びと意欲を見出し、行けるような支援を行い、利用者さんの生きがいに出会えたら幸いです。</p>	<p>阿桜園 支援課</p> <p>主事 佐々木 一国</p> <p>「二隅を照らす」糸賀一雄さんのこの言葉を胸に、利用者さんの生活が充実したものであるよう支援していきたいと思っております。</p>	<p>阿桜園 支援課</p> <p>主事 佐藤 雄輝</p> <p>日々、生活支援技術のスキルアップを図るとともに、利用者さん一人ひとりの気持ちに寄り添い、笑顔に繋げることが出来るよう努めてまいります。</p>	<p>阿桜園 支援課</p> <p>主事 土田 智也</p> <p>4月より阿桜園に配属となり、利用者さんの生活がより快適に暮らせるよう支援をしながら、自身のスキルアップにも力を入れています。</p>
			
<p>阿桜園 支援課</p> <p>主事 佐藤 明佳</p> <p>4月より阿桜園に配属となりました。利用者さん達と関わりながら、より良い支援が出来るように頑張りたいです。</p>	<p>阿桜園 支援課</p> <p>主事 高橋 泰斗</p> <p>利用者さんがより充実した生活となるよう日々丁寧な支援を心掛けて参ります。至らない点もございますが、ご指導の程よろしくお願致します。</p>	<p>阿桜園 支援課</p> <p>主事 小沼 彩</p> <p>4月より阿桜園に配属となりました。阿桜園で勤務し、半年が過ぎました。毎日勉強の日々ですが、先輩方に支えられながら日々業務に励んでおります。常に笑顔の絶えない職員でいたいと思っております。</p>	<p>阿桜園 支援課</p> <p>主事 仙道 晃平</p> <p>事業団の Motto にもあるように、利用者の方々に安心と豊かな生活を提供できるように支援を目指し努めていきたいと思っております。</p>

# 施設紹介

# 阿桜園

## 阿桜園児童棟（ひまわり棟）

阿桜園では今年度より、18歳以前から児童棟を利用して18歳以上の利用者を含む定員50名であった児童棟を、定員40名の成人施設と、定員5名の福祉型障害児入所施設へ体系を移行し、児童棟（ひまわり棟）として新たにスタートしています。

現在ひまわり棟では、支援学校小学部6年生から高等部3年生までの5名の児童生徒が生活し、スタッフが見守りしながら近接する支援学校に毎日元気に歩いて通学しています。ひまわり棟での生活では、日常生活支援のほか、知識技能の習得を目的とし、調理訓練や種々の園外活動、スポーツ大会への参加など、個々の特性に合わせた細やかな支援を提供しています。また夏祭り等園全体で行う行事を楽しみながら、社会的スキルの向上にも努めているところです。

今後、太陽に向かってぐんぐん伸びていく「ひまわり」のように、明るくたくましく、未来に向かって多くの力を蓄えていくことが出来るよう支援していきたいと思えます。



調理訓練

## 地域生活支援の充実に向けて

平成が始まった頃、福祉サービスが施設入所から地域での生活へと移行していく中で、グループホーム事業が推進され、阿桜園も平成6年に1棟を開所し、昨年度までに3棟を運営してきました。

関係法令が改正されたことを受けて、新たなグループホーム建設に向けて検討・協議を重ね、1棟2ユニット定員10名にて本年4月1日より開所することができました。総二階建ての明るく、衛生的な環境に加え、最新の防災設備機器等を導入し、利用者の皆様方からは好評を得ております。さらに保護者や近隣住民の皆様からも何より安全・安心であることに対して高い評価を頂いております。

グループホームの活動として、5月には自治会総会、7月には避難訓練と自治会食事をを行い、また地域住民の一員であること意識できるように、近隣のゴミ拾い、清掃活動等も積極的に行っていきます。

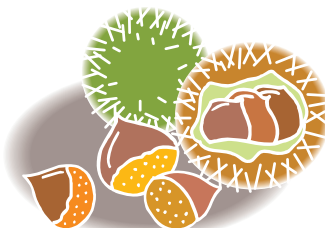
今後、当たり前前にその人らしい人生を送ることができるよう、今後も地域生活支援の充実を図ってまいります。



玄関前での集合写真

## 公開講演会及び実践発表会の開催について

平成二十七年度から取り組んでいる公開講演会及び実践発表会は、今年度で四回目となります。毎年ご好評いただいている公開講演会には、今年度、福岡寿氏（日本相談支援専門員協会顧問）をお招きし、講演していただく予定です。どなたでも無料で聴講可能ですので、皆様お誘い合わせの上お越しください。



### 平成30年度実践発表会のご案内

- 1.日時～12月17日（月）午後1時
- 2.場所～秋田拠点センターAL☆VE  
秋田市民交流プラザ2階  
多目的ホール
- 3.申込・お問い合わせ先～  
電話：018-889-8363  
秋田県社会福祉事業団 事業推進課  
※詳細は、当法人ホームページでも公開しておりますのでご覧ください。



# 施設紹介

# 高清水園

## 高清水園地域生活サポートセンター

平成30年9月20日、秋田市東通に「高清水園地域生活サポートセンター」を開設しました。これまで高清水園を拠点としてグループホーム利用者や地域の生活支援を行っていた地域支援課の機能を、より迅速に且つきめ細やかに利用者のニーズに対応できるように体制の強化を目的として市街地に移転しました。10月1日現在、グループホーム利用者24名、サテライト型住居利用者4名、合計28名に対して地域生活支援を行っています。

業務の内容は多岐に渡りますが、利用者個々のニーズを把握し、個別支援計画に基づいた支援が中心となります。個別支援計画は利用する方々の地域で生活する上での道しるべであり、希望する生活を実現するためのものです。利用者の意思決定を尊重しながら、どうすれば実現できるのかを共に考え、具体的な方法を示し、過程が納得できるように支援を目指しています。

新設されたばかりのセンターですが、グループホームに入居する方々が安心して地域で生活し、自己実現に向けてその人の人生に寄り添うようなサポートができるよう努めて参りますので、温かいご指導ご支援をお願い申し上げます。



地域生活サポートセンター

## 高清水園グループホーム

高清水園では、グループホームの再編整備に向けた取り組みを行ってまいりましたが、このほど20名が入居可能なグループホームが完成しました。平成30年10月1日より、利用者の方々は期待に胸を膨らませて、新しいグループホームでの生活が始まっております。新築のグループホームはバリアフリー構造となっており、身体に障がいがある方も安心して生活出来る建物となっております。内装は白を基調としたとても明るい雰囲気となっております。入居したばかりで環境も変わり、不安や戸惑いもあるもの、みんなで協力しながら楽しく地域生活を送れるよう頑張っております。

また、新たに2名の方がサテライト住居への入居を開始し、より一人暮らしに近い環境で生活を始めました。将来的には単身の生活を希望している方々の意思を尊重し、希望の実現に向け支援の方法を工夫し、利用者と一緒に取り組んでいくところです。

今後、利用者の重度化や高齢化が進んでいくと思われる中で、利用者の思いに寄り添い、法人のモットーである「安心と豊かな生活をまごころで」の気持ちで日々の支援に努めて参ります。



グループホーム外観

## 表彰

○秋田県知事表彰(社会福祉功労)

秋田県社会福祉事業団事務局

課長 鈴木和基  
 高清水園 課長 浮田徳夫

秋田県心身障害者コロニー  
 課長補佐 佐藤忍

課長補佐 尾留川美和子  
 主査 阿部秀昭

主査 伊藤直寿  
 やまばと園 課長補佐 富田毅

秋田県南部老人福祉総合エリア  
 施設長補佐 赤川幸

秋田県心身障害者コロニー  
 主任 小松由希

由利本荘地域生活支援センター  
 課長補佐 三浦智幸

阿根園 主査 阿部清子

秋田県身体障害者更生訓練センター  
 課長補佐 鈴木正人

主査 菊地奈緒

受賞おめでとうございます